

# 平成 29 年度 エコモデル推進事業

## 静岡市立安倍口小学校

### ●参加団体の概要

チーム名	静岡市立安倍口小学校 5年生
キャッチフレーズ	めざせ！あべっ子 環境リーダー
参加人数	5年生 40人
実施期間	平成 29 年 5 月～平成 30 年 1 月

### ●活動内容

1	H29.6.22	富士山周辺の自然環境についての事前学習会
2	H29.7.10	富士山宝永火口登山に併せた環境学習会
3	H29.7.20	水のおまわりさん（身近な川の水質調査）
4	H29.10.20 ～H30.1.26	アース・キッズチャレンジ （学校、家庭で地球温暖化防止に取り組むプログラム）

### ●活動内容の詳細

#### 1. 富士山周辺の自然環境についての事前学習会

日時：平成 29 年 6 月 22 日（木）

会場：安倍口小学校

内容：7 月 10 日に実施する予定の「朝霧自然体験教室」に向けて、「富士山の構造」や「富士山周辺の自然環境」、「生物多様性」について、環境学習指導員を招き、事前学習会を行った。



#### ～先生の感想～

富士山の自然環境（植物の生育状況、鳥などの生息状況）は、平地の安倍口小学校周辺とは全く違い、そこにしかすんでいない生物を多く紹介してくださり、当日もそれらの生物を実際に探しに行こうとする子どもたちの意識があり、事前学習としてはとても充実していた。

## 2. 富士山宝永火口登山に併せた環境学習会

日時：平成 29 年 7 月 10 日（月）

場所：富士山宝永火口周辺

内容：事前学習の内容を踏まえ、富士山宝永火口周辺を歩きながら植物や鳥、富士山のつくりについてガイドをした。

～先生の感想～

歩くペースも子どもたちに合った無理のないペースで、危険箇所などもガイドしていただきながら、安全面でも大変ありがたかった。

子どもたちに一番心に残ったことは何かと聞いてみると、やはり、そこに生える植生であった。平地では見られない、強風にも耐えるように地を這うように生えていた木々は、子どもたちにとってとても新鮮で、まさに見た目でも富士山の自然環境の厳しさを物語っているものとして認識できたと思う。

## 3. 水のおまわりさん（身近な川の水質調査）

日時：平成 29 年 7 月 20 日（木）

場所：中ノ郷の小川（小学校区内にある川）

内容：環境学習指導員の指導のもと、水生生物調査と水質調査を行い、安倍口学区の河川から自然環境についての現状を学んだ。



～先生の感想～

子どもたちが住んでいる安倍口学区にこんな小川がまだあるということに自覚できたことがとてもよかった。子どもたちの感想の中には、「また来たい」「この自然を守っていきたい」という表現もあり、本時の目標は十分に達成できたと考えられる。

#### 4. アース・キッズチャレンジ

日時：平成 29 年 10 月 27 日（金）

会場：安倍口小学校 体育館

内容：「アース・キッズチャレンジ」は、自宅の電気メーターやガスメーターの使用量をチェックし、エコ生活の実施前と実施後の使用量の変化を知ること、自分たちにも地球温暖化を防止する取り組みができることを学ぶプログラム。

「キックオフイベント」では、地球温暖化の現状を学ぶミニ講座と3つの体験を通し、自分にできるエコ生活の取り組みを考えた。



日時：平成 30 年 1 月 26 日（金）

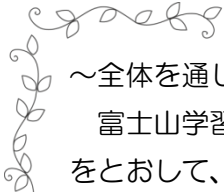
会場：安倍口小学校

内容：「セレモニー」では、クラス全員の取り組み結果により、削減された二酸化炭素量の結果を発表した。また、子どもたち一人ひとりに応援メッセージを添えたエコリーダーの認定証を授与した。



～先生の感想～

キックオフイベントでは、体験を通して地球温暖化について学ぶことができた。それを受けてのアース・キッズチャレンジの取り組みでは、自分でできる目標を設定して、無理なくできることを探し、家族ぐるみで取り組む家庭が多かった。その結果をセレモニーで認定証とともに教えていただき、子どもたちの励みとなった。



～全体を通しての先生の感想～

富士山学習、富士山ガイド、中ノ郷の水質調査、アース・キッズチャレンジなどの活動をとおして、富士山や安倍口の自然環境の違いやそれぞれのよさを学び、それらの自然環境を守っていくために、どんな取り組みができるのかを考えるきっかけとなっていた。

さらに、地球規模で起きている環境問題を学んでいくことで、身近で起きている環境問題に対する意識を高め、温暖化を防止するための対策を子どもたちの身近なレベルで考えることができた。子どもたちのまとめなどを見ても、とても有意義な取り組みができたと思う。

